

平成22年度における契約状況のフォローアップ

平成23年8月

独立行政法人医薬品医療機器総合機構

1. 平成20年度と平成22年度に締結した契約の状況

(単位：件、百万円)

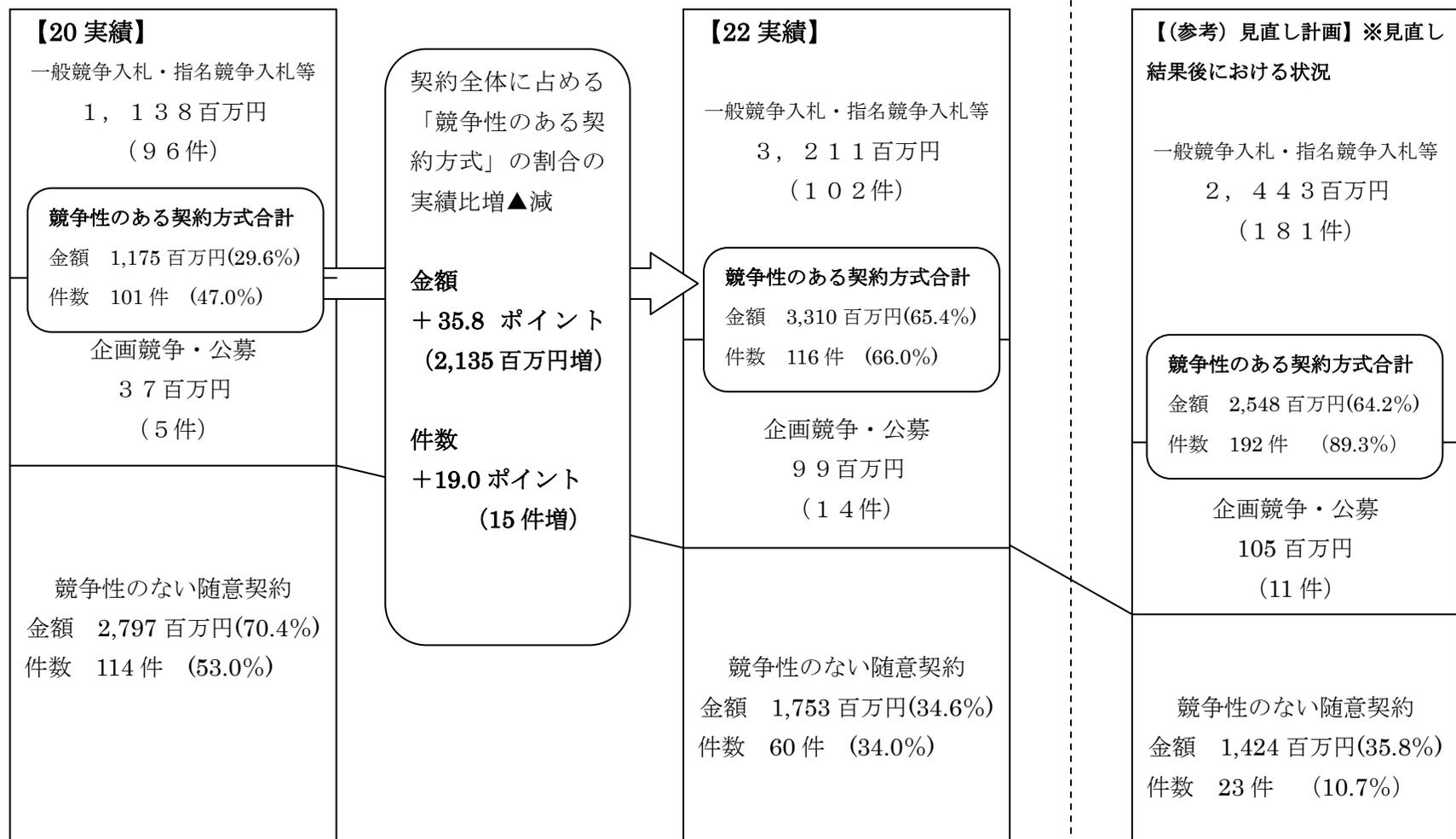
	平成20年度		平成22年度		比較増△減		見直し計画	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
競争入札等	(44.7%) 96	(28.7%) 1,138	(58.0%) 102	(63.4%) 3,211	(13.3%) 6	(34.7%) 2,073	(84.2%) 181	(61.5%) 2,443
企画競争・公募	(2.3%) 5	(0.9%) 37	(8.0%) 14	(2.0%) 99	(5.7%) 9	(1.1%) 62	(5.1%) 11	(2.6%) 105
競争性のある契約(小計)	(47.0%) 101	(29.6%) 1,175	(66.0%) 116	(65.4%) 3,310	(19.0%) 15	(35.8%) 2,135	(89.3%) 192	(64.2%) 2,548
競争性のない 随意契約	(53.0%) 114	(70.4%) 2,797	(34.0%) 60	(34.6%) 1,753	(△19.0%) △54	(△35.8%) △1,044	(10.7%) 23	(35.8%) 1,424
合計	(100%) 215	(100%) 3,972	(100%) 176	(100%) 5,063	(0.0%) △39	(0.0%) 1,091	(100%) 215	(100%) 3,972

(注1) 計数は、それぞれ四捨五入しているため、合計において一致しない場合がある。

(注2) 比較増△減の()書きは、平成22年度の対20年度伸率である。

(注3) 見直し計画の計数等は、「独立行政法人の契約状況の点検・見直しについて(平成21年11月17日閣議決定)」に基づき公表した見直し計画である。

(参考) 図表 平成20年度と平成22年度に締結した契約の状況



(注) 「一般競争入札・指名競争入札等」には、不落・不調の随意契約を含む。

2. 見直し計画に掲げた競争性のない随意契約の割合に到達しなかった主な理由（金額ベースでは到達）

平成 22 年度において、随意契約見直し計画の見直しの視点に照らし競争性のない随意契約を締結せざるをえない案件が生じたため。内訳は①不動産賃貸借に伴い相手方の限定されるもの：17 件(1,481 百万円)、②購入先又は実施先が 1 者に限定されるもの：9 件(44 百万円)、③満了していないリース契約及び当該契約に伴う保守契約：34 件(229 百万円)である。

なお、新規案件は存在しない。

3. 平成 22 年度において、随意契約から一般競争入札等、企画競争、公募に移行した主な契約

① 一般競争入札へ移行

(ア) 医薬品等の新申請・審査システム機器賃貸借等一式	4 3 百万円
(イ) 救済給付データベース統合・解析システム機器の借上	1 7 百万円
(ウ) 医薬品等調査支援システム機器借上一式	1 5 百万円

② 指名競争入札へ移行

③ 企画競争へ移行

④ 公募へ移行

} なし

4. 一者応札・応募の改善状況

(単位：件、百万円)

		平成 20 年度	平成 22 年度	比較増△減
2 者以上	件数	5 5 (54.5%)	7 0 (60.3%)	1 5 (5.8%)
	金額	4 3 1 (36.7%)	1, 2 4 2 (37.5%)	8 1 1 (0.8%)
1 者以下	件数	4 6 (45.5%)	4 6 (39.7%)	0 (△5.8%)
	金額	7 4 4 (63.3%)	2, 0 6 8 (62.5%)	1, 3 2 4 (△0.8%)
合 計	件数	1 0 1 (100%)	1 1 6 (100%)	1 5 (0.0%)
	金額	1, 1 7 5 (100%)	3, 3 1 0 (100%)	2, 1 3 5 (0.0%)

(注 1) 計数は、それぞれ四捨五入しているため、合計において一致しない場合がある。

(注 2) 合計欄は、競争契約（一般競争、企画競争、公募）を行った計数である。

(注 3) 比較増△減の（ ）書きは、平成 2 2 年度の対 2 0 年度伸率である。

5. 一者応札、一者応募に係る改善方策 (http://www.pmda.go.jp/chotatsu/kaikei/file/1sya_kaizen.pdf)